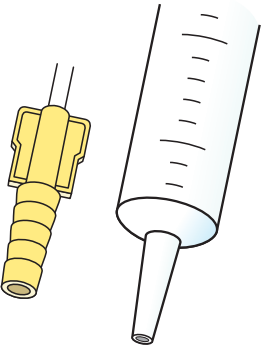
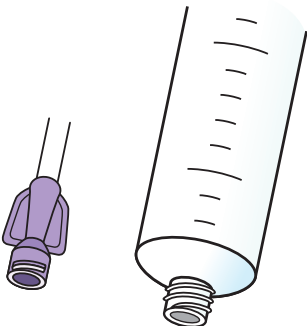
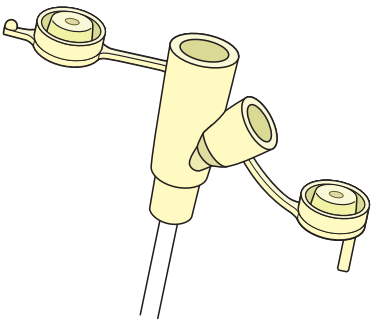
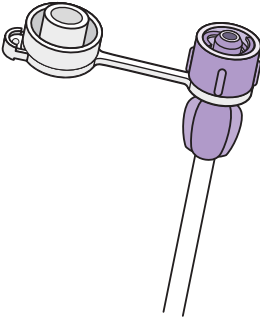


# 経腸栄養製品の コネクタ形状変更について

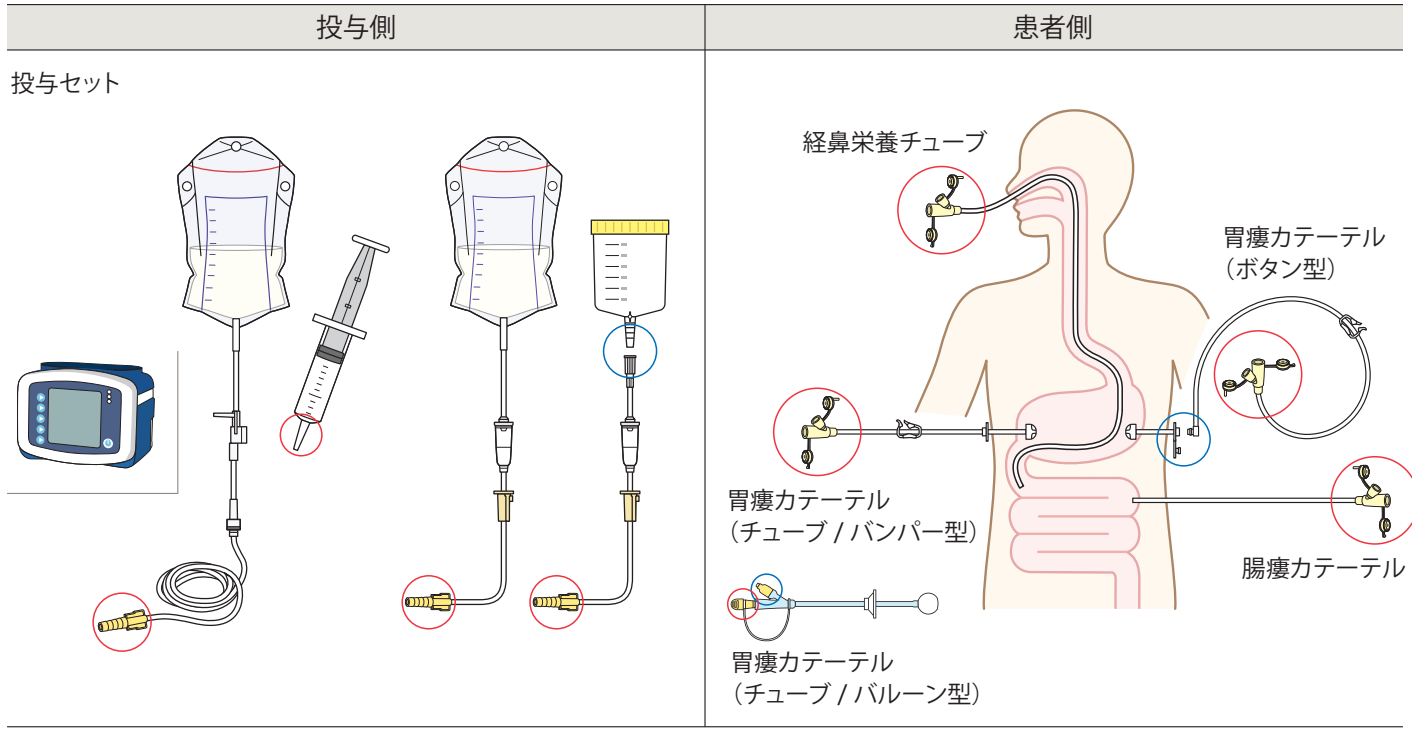
経腸栄養製品のコネクタ形状を、誤接続防止を目的とした新規格であるISO 80369-3に準拠したコネクタ形状に変更いたします。  
変更後は、既存規格品との接続ができなくなります。

## ■変更内容

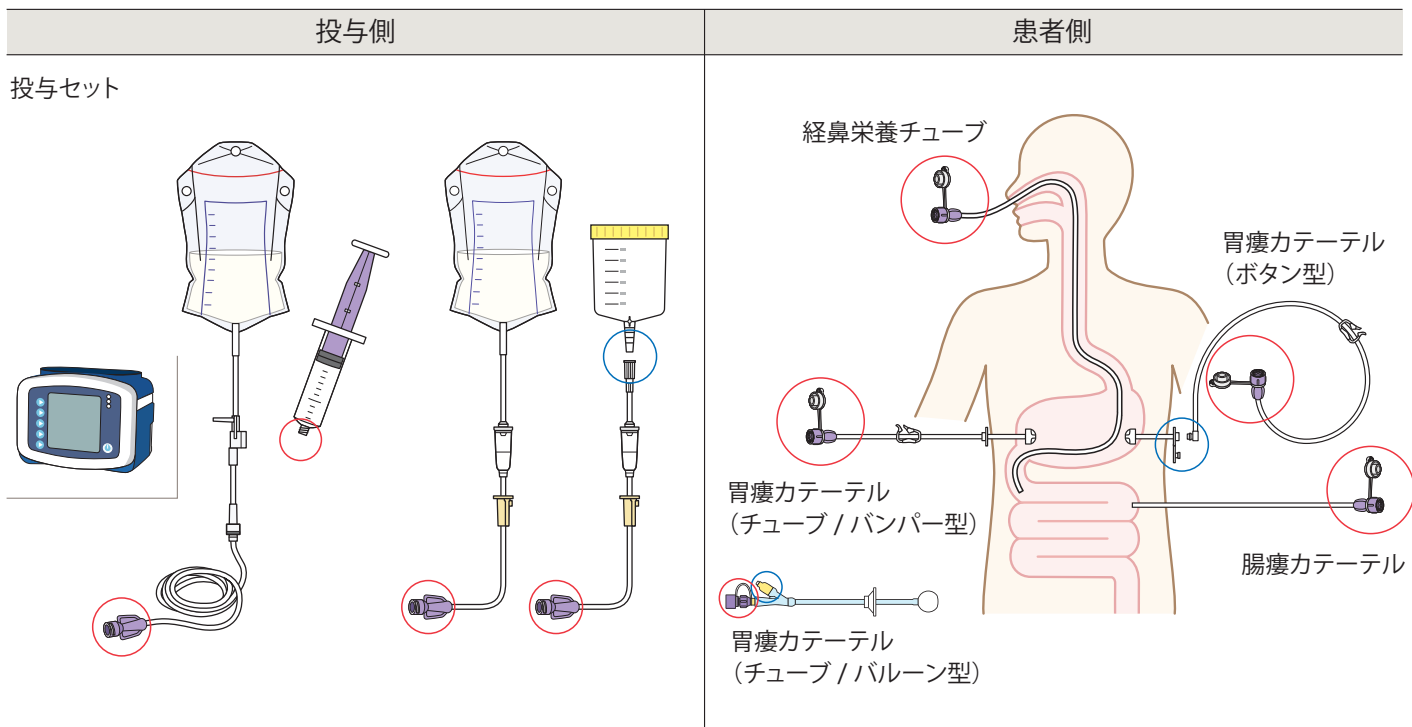
新規格では従来のオス形状がメス形状に、メス形状がオス形状に変更されます。

既存規格	新規格 (ISO 80369-3)
<p data-bbox="118 981 268 1010">投与側 (オス)</p> 	<p data-bbox="831 981 981 1010">投与側 (メス)</p> 
<p data-bbox="118 1429 268 1458">患者側 (メス)</p> 	<p data-bbox="831 1429 981 1458">患者側 (オス)</p> 

■変更箇所



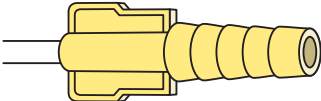
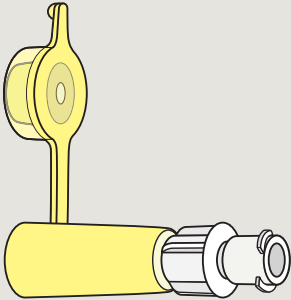
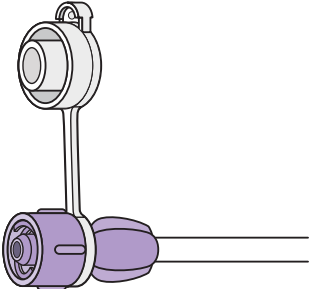
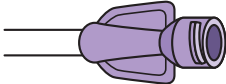
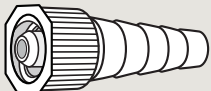
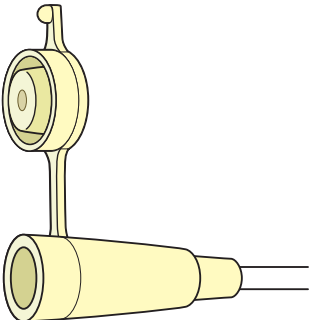
○の部分が変更します  
 ○の部分は対象外です



※栄養剤コンテナと接続する RTH 部分、胃瘻バルーンタイプの固定水を入れるルーメンや胃瘻用ボタンと投与セットの接続部は対象ではありません。  
 ※セイラム サンプ チューブ (医療機器認証番号：225AABZX00046000) は対象ではありません。  
 ※栄養剤や薬剤をシリンジに吸引する際に使用する採液デバイスも発売されています (当社では取扱いがございません)。

## ■変換コネクタについて

既存規格と新規格 (ISO 80369-3) 品の切替時に、医療現場において、既存規格と新規格が相互で非嵌合となることにより治療等に支障をきたすリスクを回避する場合には、変換コネクタをご使用ください。

投与側	タイプA (メス・メス)	患者側
 <p data-bbox="244 1093 413 1122">既存規格 (オス)</p>	 <p data-bbox="684 1059 911 1122">既存規格 (オス) と 新規格 (オス) の接続</p>	 <p data-bbox="1190 1093 1337 1122">新規格 (オス)</p>
投与側	タイプB (オス・オス)	患者側
 <p data-bbox="256 1742 400 1771">新規格 (メス)</p>	 <p data-bbox="671 1709 924 1771">新規格 (メス) と 既存規格 (メス) の接続</p>	 <p data-bbox="1177 1742 1350 1771">既存規格 (メス)</p>

# 新規格コネクタ (ENFit/ISO 80369-3) 使用上の注意点

## 1.コネクタの観察

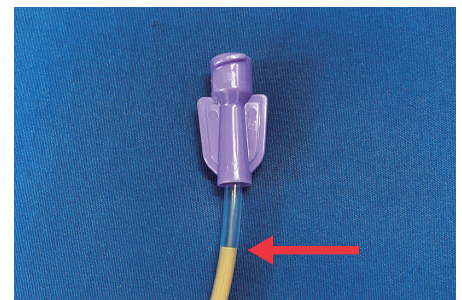
患者側コネクタは溝があるため栄養剤等が溝に残りやすいです。栄養剤が残っていると汚染や固着による過嵌合なども発生するおそれがあります。

投与前後に患者側コネクタに栄養剤が溜まっていないか確認してください。  
栄養剤が溜まっている場合には、栄養投与セットを接続する前や栄養剤投与後にお手入れをしてください。(5.6ページ参照)



## 2.プライミング

①投与セットやシリンジの先端までプライミング(栄養剤を満たす)しないようにします。



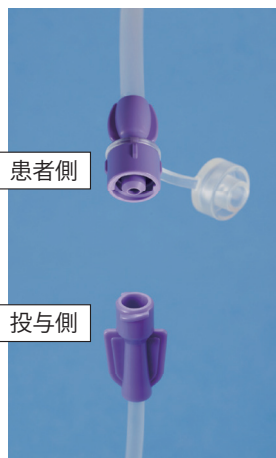
②接続する前に投与セットやシリンジの先端を拭きとります。



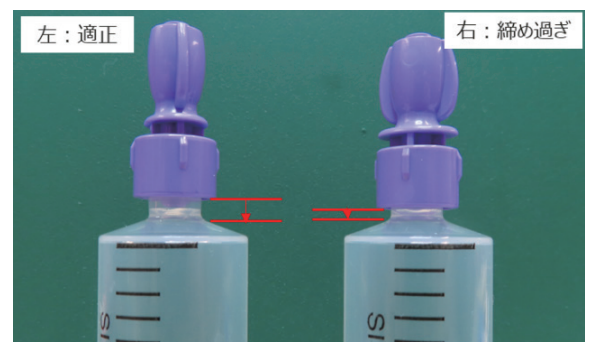
①と②は栄養剤が患者側コネクタの溝に溜まりにくくするためのコツになります。

## 3.接続方法

①投与セットと患者側コネクタの接続は、患者側コネクタを上にして接続すると、患者側コネクタに栄養剤が溜まりにくいです。



②コネクタの接続時は強く締めすぎてしまうと過嵌合を起こしてしまうため、少し回転して接続した後はやや抵抗を感じる程度にしてください。

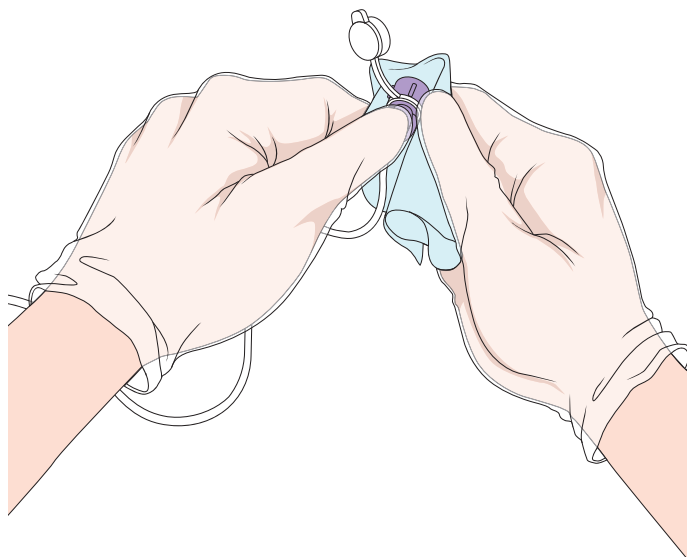


# 新規格コネクタ (ENFit/ISO 80369-3) お手入れ方法

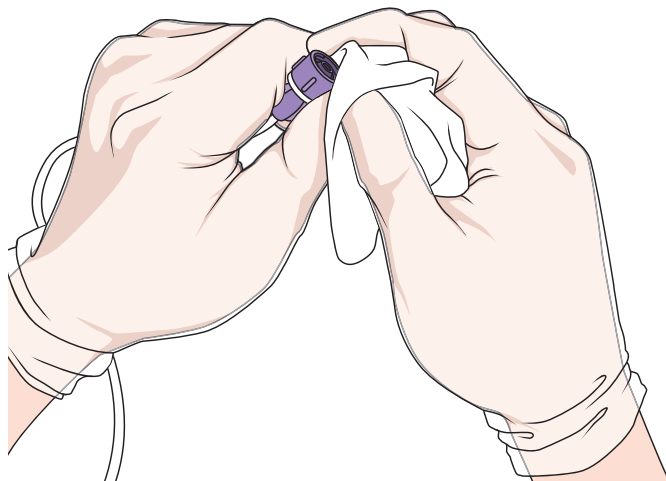
経鼻栄養チューブや胃瘻カテーテル チューブタイプの場合

\*チューブを取り外すことができないため、ベッドサイドでお手入れをお願いします。

経鼻栄養チューブや胃瘻カテーテルの接続部を持ち、濡れたガーゼでよく拭きます。栄養剤などが取り除けるまでよく拭いてください。

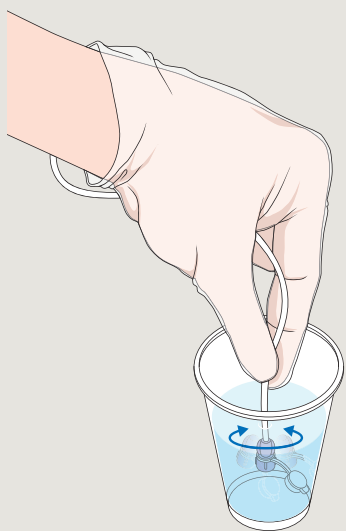


栄養剤などが取り除けたら、経鼻栄養チューブや胃瘻カテーテルの接続部やキャップを乾いたガーゼで拭き、しっかり乾燥させましょう。



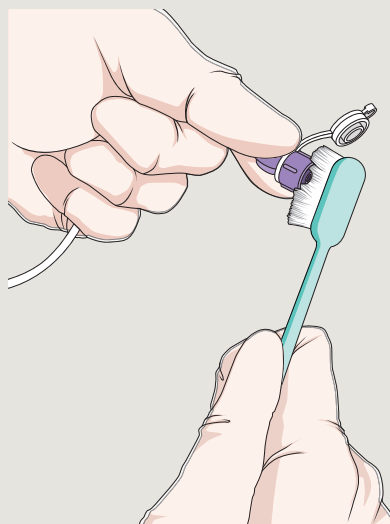
## ガーゼによる清拭で取り除けない場合

栄養剤などが取り除けない場合には、水道水または微温湯を入れたコップに接続部を漬け、よくゆすいでください。



## コップを入れた水で取り除けない場合

ブラシを用いて、接続部の溝をやさしく磨くと取り除くことが出来ます。

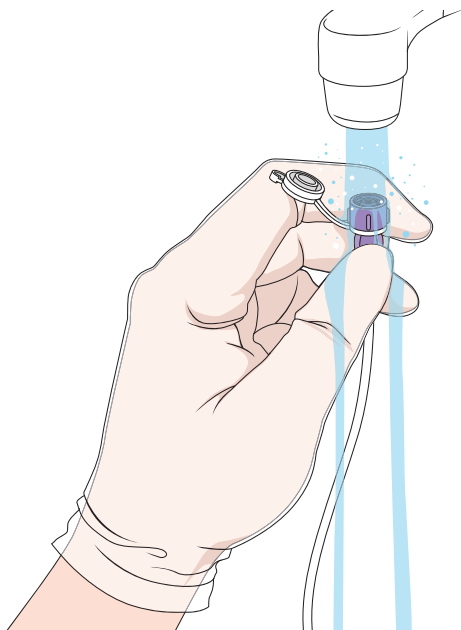


※コネクタが破損する危険性があるのでアルコール綿は使用しないでください。

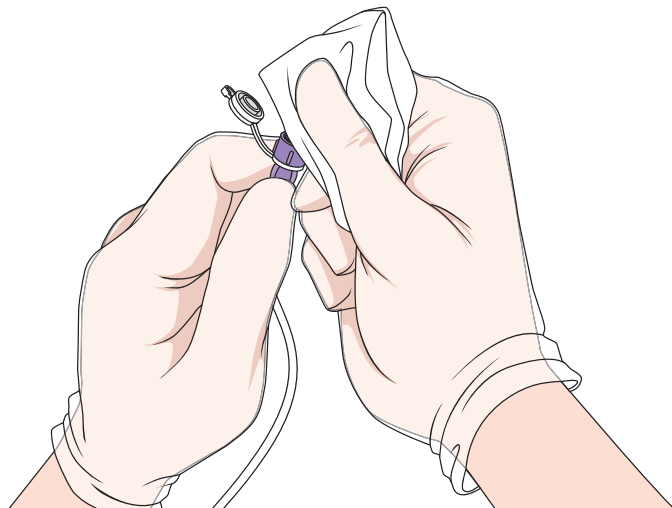
# 新規格コネクタ (ENFit/ISO 80369-3) お手入れ方法

胃瘻カテーテル ボタンタイプの場合 \*投与セットをボタンから取り外しよく洗浄してください。

投与セットをボタン型カテーテルから外し、接続部を流水でよく洗い流し、栄養剤などを取り除いてください。

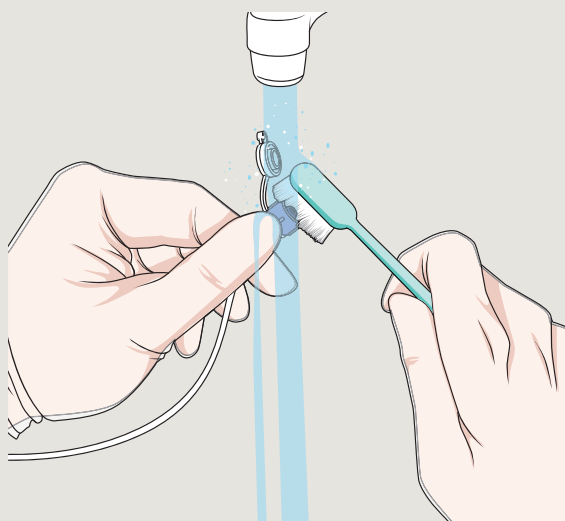


投与セットの接続部やキャップをガーゼで拭き、しっかり乾燥させましょう。



## 流水で取り除けない場合

ブラシを用いて、接続部の溝をやさしく磨くと取り除くことができます。



■対象製品

	カテゴリ	製品名	医療機器許認可番号	当院の対象製品
投与側	投与セット	カンガルー Joey ポンプ ポンプセット	222AABZX00117000	
		カンガルー e ポンプ ポンプセット	218AABZX00036000	
		カンガルー 経腸栄養ポンプセット	219ADBZX00015000	
		カンガルー 経腸栄養セット	22B1X00007NS004A	
		ED バッグ	22B1X00007NS014A	
患者側	経鼻栄養チューブ	ニュー エンテラル フィーディング チューブ	225AABZX00129000	
		ニュートリフロー フィーディング チューブ	224AABZX00193000	
		ED チューブ	225AABZX00021000	
		W-ED チューブ	225AABZX00182000	
	胃瘻カテーテル	カンガルー PEG キット	21100BZZ00746000	
		カンガルー セルジンガー PEG キット	21600BZZ00253000	
		カンガルー バンパー G- チューブ	21800BZZ10067000	
		カンガルー ボタン II	21600BZZ00252000	
		胃瘻バルーンカテーテル	221ADBZX00031000	
	腸瘻カテーテル	ジェジュノストミイ カテーテル	224AABZX00180000	
	その他	メディカット ストップコック	224AABZX00121000	
		コンファーム・ナウ	22B1X00007KD003A	
		カンガルー フィーディング コネクタ	22B1X00007NS022A	

ご施設や関連施設、在宅におけるスムーズな切替をサポート致しますので、  
弊社営業担当者やカスタマーサポートセンターにご相談ください。

お問い合わせ先

日本コヴィディエン株式会社  
カスタマーサポートセンター  
TEL：0120-917-205



◀日本コヴィディエン  
FAQサイト

※詳細はこちら



[cardinalhealth.com](https://cardinalhealth.com)